

## 2022年 スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲーム広島 開催!!



### 夏季ナショナルゲーム広島を終えて

～次のステージへ 自信を持って～ 団長 勢木 俊二

11月4日から6日、広島において第8回ナショナルゲームが開催され、大阪からアスリート22名、役員コーチ16名計38名が参加しました。コロナ渦のため、感染対策をしっかりとったうえで日々トレーニングを重ね、大会に臨みました。

開会式の行われる体育館に到着後、ヘルシー・アスリート・プログラム（HAP）に参加し、競技ごとではありませんが、口腔、眼、聴力、足等の健康チェックを各自行いました。健康増進や競技能力の向上を図り、健康への関心を高める上で優れた取り組みだと改めて感じました。

その後、全員で、開会式に出席し、お互いの健闘を確認して競技ごとに宿舎に向かいました。私は、今回、競泳チームに帯同しました。競泳チームはアスリート5名で個人種目とリレーに出場しました。各自予選と決勝、2回泳ぎましたが、緊張の中、しっかり泳ぎ切り、決勝では予選よりタイムを縮めるアスリートが多くいました。表彰台でも、満面笑顔、うれし涙などいろいろな表情を見せてくれました。

大阪からは、陸上、卓球、バドミントン、フライングディスク、ボウリング、柔道にも出場しましたが、それぞれの競技会場で、このような光景が見られたことでしょう。また、観戦等でいろいろな制約があるなか、ファミリーも多く応援に駆けつけてくださり、アスリー



Special Olympics Nippon  
**HIROSHIMA 2022**  
National Summer Games

### Power of Smile

～だれもが輝ける場所へ。～

トの大きな力になったと思います。

アスリートにとっては、この大会に出場したことで、自信を持って次のステージへ進めるものと確信していますし、また、コーチ、ボランティアにとっても、他地区の方々とは接するなかで自分で得たものがあつたと思います。そして、それらを今後の活動に活かしていきたいものです。

開会式 挨拶 SO日本 有森 裕子 理事長



(写真提供：スペシャルオリンピックス日本)



## 陸上ヘッドコーチ 長村 泰正

広島へは、アスリート5名、コーチ4名での参加でした。競技会場では、DAL担当のボランティアの方が3名サポートしていただき、招集やウォームアップに手助けいただき大変助かりました。アスリートとも少しずつ関係を築いていただきスムーズなご支援となりました。

競技は、5000m、1500m、100mと400mリレーに出場しました。大きな会場での戸惑いもなく、陸上競技役員の丁寧な対応で、アスリート一人ひとりが、自分の目標に向かって活動することができました。成績は、個々に違いましたが、達成感をもって終了しました。日頃一緒に練習しているアスリート、コーチで、宿舎から競技会場、式典会場への移動も、安心して行いました。広島駅でお土産を買い、広島焼のテイクアウトをして車内でおいしそうに食べていました。

有意義な参加となったことを嬉しく思っており、この体験を日常トレーニングに活かしていきたいと思いました。

## 陸上ボランティア DAL担当 齋藤 千穂

広島でのナショナルゲーム、大変お疲れさまでした。お天気にも恵まれ、良い大会となりました。DALとして大阪チームに帯同させていただき、ご一緒する時間のなかで、SOにかかわることになったきっかけのお話もお聞きできありがとうございました。

長きにわたり想いを寄せて活動されていらっしゃるごこと、感動の一言に尽きます。

アスリートとの濃い時間で、個性の豊かさや可能性を感じることもできました。帰りの新幹線で、念願の(！)広島焼も食べることができてよかったですね。

みなさんがおいしくいただいている様子が日に浮かびます。

また、活動機会でお会いできますこと楽しみにしております。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 陸上ボランティア DAL担当 ソニー生命 渡辺 竜一

今回初めてDALとして参加させていただきました。

最初アスリートの皆さんと、どのように接すればいいのか右往左往しましたが、逆にアスリートのみなさんから教えていただき、おかげで充実した2日間となりました。本当にありがとうございました。移動疲れとは裏腹に、週が明けてから選手やご家族、スタッフ皆様の屈託のない笑顔の思い出し、何かとても清々しい気持ちでおります。次回いただいたTシャツを着て、皆様とお会いできると嬉しいなと思っております。



【陸上チーム DALと共に】



【陸上400m×4リレー 表彰式】

## NG広島 陸上ファミリー 山下 寛子

準備段階から色々とお気を使ったNGでしたが、参加させていただいて本当に良かったです。

10月半ばには息子が通う作業所でクラスターが発生しました。幸い息子は陰性でしたが2週間作業所が休みになり、大会までに沈静化するの不安な日々を過ごしました。

また、夏前からはてんかん発作の間隔が短く、大会中に大きな発作が起きたらどうしようと心配もしていましたが、出発の3日前に発作を起こしたことで「これでしばらくは大丈夫」と安心して送り出すことができました。

年齢とともにマイペースを貫くようになった息子は、いつものように周囲をハラハラさせながらも笑顔で走りました。笑いと拍手の中で無事に完走する息子の姿を見ることができて私も感激しました。応援に同行した3歳の姪も「ゆきが応援したから隆司くん頑張ってたね〜。」と嬉しそうでした。

Power of Smile～だれもが輝ける場所へ～を実感した広島でした。引率していただいたコーチの皆様はもちろん、大会を支えてくださったすべてのの方々に感謝です。ありがとうございました。

## 陸上ボランティア DAL担当 ソニー生命 坂本 晴生

秋晴れの中、アスリートの頑張りに勇気と学びをもらう2日間でした。その間、大阪チームの皆さまとずっとご一緒できましたこと大変嬉しく思っております。

5名のアスリートとの触れ合いは、またひとつ何ものにも代え難い宝物となりました。本当にありがとうございました。活動や理念に触れることで、少しではありますが新たな決意が生まれました。

そして、我が社が持つ社風、そして先人が築いてくれた「相互研鑽と社会貢献」の理念を守り抜くことこそが、我々ライフプランナーが「社会の公器」となるためのミッションであることを改めて思い起こされました。

どうかこれを機に、またいろいろ学ばせていただきたくご指導のほどよろしく願いいたします。

DAL：デリゲート・アシスタント・リエゾンの略です。  
チームに同行して活動をサポートする役割です。



広島大会の感想 陸上コーチ 谷澤 祥行

宿舎での生活や競技場でのレースなどストレスが多いなかアスリートがひとつずつ取り組みをクリアしていく様子を見て頼もしく感じました。表彰台に乗った時の誇らしげな顔が印象に残っています。これからも多くの経験を積み重ね、いろいろな場面で彼ら彼女らの誇らしげな顔を見たいと思いました。



【陸上 5000m走】

NG広島 競泳 ヘッドコーチ 三宅 徹

NG参加のアスリート5名も徐々に近づいていく大会に向けて練習で泳ぎこみ、真新しいユニフォームも受け取り意気込みを高めつつ当日を迎えました。

1日目は、開会式を楽しみました。2日目、朝日に浮かぶ穏やかな瀬戸内海を車窓から眺めながらいよいよ競泳会場(日本製鉄アクアパーク)に到着。歓迎のボランティアの皆さんと挨拶を交わして地区担当のDALさんとも合流し仲間が一人増えて意気揚々。

即アップ開始してディビジョニングラン(予選)では、最初に25m×4自由形リレー予選、それから個人種目。その日の最後にリレーの決勝ランが行われディビジョン2位の好成績でスタートできました。個人レースでも練習以上のタイムのアスリートがほとんどでした。やっぱり、みんな本番に強い!大会2日目の決勝ランでも好成績が出て表彰式へ。

たくさんのお祝いの声や拍手で少し恥ずかしい表情も見えましたが、表彰ステージで胸に輝くメダルは練習で磨いた技術や泳ぎこんできた今までのご褒美でもあり、ひとり一人にとっては掛け替えのない証です。笑顔や嬉し涙、そんな姿に「やっぱり、かっこいい!」と思いました。コーチ陣にとってはその姿を見るのが最高のご褒美であったはずです。ありがとうございます。



【競泳 25m×4リレー 表彰式】

競泳 ファミリー 玉川 寿都香

広島のナショナルゲームに参加できる事になりとても喜んでいました。荷物なども一緒に振り分けし確認しました、とてもスローな息子ですが出発の日は緊張していたのか素早く動いていました。広島駅では多くのサポーターさん達の迎え入れに感激しました。

水泳会場は異で行われました、コロナ対策のため観覧が屋外のガラス越しでしたがみんなで協力し観る事ができました。個人、リレーとも予選ではメダル獲得には厳しかったのですが決勝での頑張りと、特にリレーでは皆んなすごく頑張った個人、リレーともメダルを頂く事ができました。皆んなの大喜びで涙ぐむ姿をみてもらい泣きました母でした。3日間みんなの楽しそうな笑顔が見れうれしかったです。ありがとうございました。

競泳 ファミリー 後藤 千秋

このたびはNG広島に参加させていただきありがとうございました。最も心に残ったのは、大勢のボランティアさんが親切にサポートしてくださったことです。競技会場はもちろん、閉会式会場付近に案内に立ってくださったり、帰りの広島駅では温かいお見送りをいただきましたこと、心より感謝いたします。コロナの不安がある中で様々な工夫をされ、大会を実現してくださいましたことは、並大抵のご苦労ではなかったと思います。今回、広島での大会に参加して経験したことは、息子にとっても糧となることなのでしょう。本当にありがとうございました。息子大毅は、「きょうえい、たのしかった!がんばった!またおよう!」でした。



【競泳チーム DALと共に】

競泳ボランティア DAL担当 間 愛香

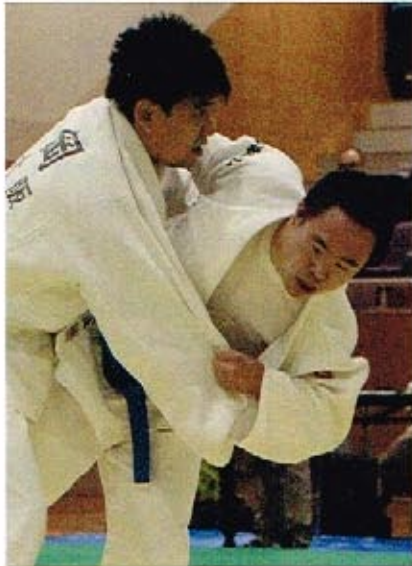
私は今回のボランティアに参加した時に、最初は何をすればいいかも分からず、アスリートやコーチの補助が上手くできるか不安でしたが、はじめましての挨拶をした時に皆さんがとても暖かく受け入れてくれて接してくれてとても嬉しかったのを今でも覚えています。アスリートの皆さんは明るい人ばかりでとても楽しませて頂きました。また、皆さんが一生懸命スポーツに取り組んでいる姿や泳ぎ終わったあとのみなさんの達成感溢れる姿にとっても感動し、プライベートの時と競技中の時のアスリートのみなさんの目の色が変わる姿にとっても刺激をもらいました。私自身も今スポーツを行っているのも、皆さんのように本気でスポーツに向き合い、学生が終わるあと1年間悔いの残らないように頑張ろうと改めて思えました。また、コーチの方々もアスリートの方に寄り添う姿、本気の指導、アスリートの泳ぎを見守る眼差しにとっても感動しました。たったの2日間でしたが大阪チームの一員としてアスリートの方を支え応援出来たことがとてもいい経験になり、宝物になりました。選手の皆さんの今後の活躍を心からお祈りしております。2日間ありがとうございました。



## 柔道 ヘッドコーチ 辻和也

今回初めて柔道がプログラムとして開催され、その記念すべき大会に参加できたことを大変うれしく思っています。事前に聞いてはいましたが、実際に参加してみるとその大会規模の大きさにまぎませんでした。たくさんのボランティアのかたが広島駅に着いたときから迎えてくださり、アスリートとともに大変誇らしい気持ちになりました。コロナ禍にあって十分な練習が出来ないままの試合となってしまいましたが、当日は各県のアスリートとの交流なども活発に行われ、試合だけでなく成果が得られたと思っています。

夏の大阪チームの合宿以降、大会にむけたスケジュールを組んでのぞめば、本人のモチベーションもまた違ったものになったことと思われましたが、次回にむけての課題としたいと思います。広島



では知的障がい者柔道指導者講習会も事前に行なわれ、現地の柔道指導者に障害者柔道の理解、普及が進んだことも試合運営を見て感じられました。準備に関わった先生方には敬意を表したいと思いますし、こうしたことも一つの成果ではないかと思えます。

当日身の回りのお手伝いをしてくださったDALさんの存在などは、直接参加した者でなければ感じることでできない経験だったと思います。

## 柔道 アスリート 岡伸也

スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームに初めて柔道で参加できたこと嬉しかったです。開会式終わって大会会長の有森祐子さんと、記念撮影できたこと嬉しかったです。表彰式のとき高門宮妃久子さまにメダルを首にかけてもらったこと記念にしたいです。また、スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームに参加したいです。



## フライングディスク アスリート 林美行

「とても楽しかったです。また、行きたいです。」



## ボウリング競技 ヘッドコーチ 柳井 祥晴

今回、ボウリング競技には、男性12名、女性3名の出場希望がありました。選考会で男性4名女性2名の計6名の出場となりました。

ミスズボウルは40レーンしかなく、今回初めて2シフトでの競技となりました。アスリートは落ち着いて競技できました。なかなか違うシフトのアスリートの応援ができないことが、残念でした。

予選では、なかなか実力が出せないアスリートとほぼ普段通りのスコアを出せるアスリートに分かれました。決勝では、普段の実力をほぼ発揮したり、実力以上に良いスコアを出すアスリートもいました。多くのアスリートがメダルをもらえることになりました。

ボウリング競技の特性ではありますが、ゲームで大きくスコアが変動することが起こります。マキシマムエフォートルールもあり、普段のプログラムで安定したスコアを出せるトレーニングにしっかりと取り組むことを改めて感じました。今回の大会を通して感じたことは、今後のプログラムに生かしていきたいと思っています。



## ボウリング アスリート 朽見 隼人

大会は最高に楽しかった。

同じレーンのアスリートは愛知の人でした。友達になれたので嬉しかったです。愛知の金のしゃちほこのピンバッチをもらいました。

## ボウリング アスリート 溝上 絵理

金メダル取れなくてくやしかった。開会式楽しかった。

## フライングディスク コーチ 林典子

いろんな方に会えて、とても良い経験が出来ました。

大阪の選手団の方々に、優しく声をかけて頂いたり、競技別では、他県の方と、FDのお話をし益々、頑張ろうと思ったようです。